Course number		U-LAS70 10001 SJ50										
Course title (and course title in English)	III ASアミナー・身体運動を行んる					ame	uctor's e, job title, lepartment iliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, SHOTA HAGIO				
Group	Seminaı	ninars in Liberal Arts and Sciences				ımbe	er of credits	2 Number weekly time blo			1	
Class style semi (Fac		nar e-to-face course)		Year/semest		rs	2025 • First semes		r	Quota (Freshman)		10 (10)
Target year Mainly 1st year		ly 1st year students	Eligible students			Fo	r all majors			riods	Tue.5	
Classroom	13, Yoshida-South Campus Bldg. No. 4								Lar ins	nguage of Japanese		
Keyword	運動制	御/運動学習/	スホ	ポーツ / 脳	・神	経						

[Overview and purpose of the course]

日常動作からスポーツ・楽器演奏などに至るまで、我々は実に多様で複雑な身体運動を作り出すことができる。本ILASセミナー:身体運動を考えるでは、どうすればもっと高く跳べるのか、どうすればもっと上手にピアノを弾けるのか、といった素朴な疑問や、受講生の体験談などに関して、関連するテキストや資料などをもとに話し合ったり、簡易的に運動を計測しながら、身体運動が作られる仕組みについて学習する。日常動作やスポーツまたはリハビリテーションなどを題材に、ヒトの身体運動を、運動制御学・神経科学・運動生理学といった観点から理解していくことを目指す。

[Course objectives]

- ・身体運動の制御やその機序に関する知識を習得すること。
- ・自分自身や他者の運動を専門的に観察し考察する能力を獲得すること。
- ・専門的な資料を読んでその内容を要約しプレゼンすることで、プレゼンテーションの基本的素養 を習得すること。

[Course schedule and contents)]

フィードバックを含め、全15回の授業を実施する。

第1回:授業の進め方についてのガイダンスを行う。2回目からの授業のテーマやテキスト・資料などについて、受講生と話し合い、各受講生の興味関心に合ったものを決定する。

第2~14回:ヒトの運動の制御やスポーツ、トレーニング、リハビリテーションなどに関するテキストや資料を素材とし、担当者がその内容をプレゼンし、それについて受講生皆で議論を行う。また場合によっては、受講生にスポーツ・楽器演奏などの体験談を話してもらったり、実際に身体を動かしたり、運動に関する映像を視聴したり、簡易的な運動の計測をしたりしながら、身体運動についての理解を深めていく。

第15回:フィードバック

Continue to ILASセミナー : 身体運動を考える(2)

ILASセミナー :身体運動を考える(2)
L
[Course requirements]
None
[Evaluation methods and policy]
出席と参加の状況(約60%)と発表内容(約40%)で評価する。ディスカッションへの参加の積極性も加 味することがある。詳細は、初回授業にて説明する。
[Textbooks]
Instructed during class
[References, etc.]
(References, etc.) Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
翌週の授業のためにそれまでの授業内容を復習・確認しておくこと。また、次の授業で使用するテ キストや資料をあらかじめ読んでおくこと。
[Other information (office hours, etc.)]
オフィスアワーについては、KULASISを参照のこと。
[Essential courses]